

矢作川・東海(恵南)豪雨10年企画

国土交通省(豊橋河川、矢作ダム)、愛知・岐阜・長野の各県、流域圏内の市町村、建設業協会、中部建設協会が共催で以下の企画を実施。

第1弾

6月～12月: 矢作川沿川の市町村役所ロビー、防災イベントなどにおける**パネルリレー展示**。
市役所ロビー展示は8/9西尾市が皮切り。

第2弾

8月25日: 東海豪雨を再現した洪水時の**情報伝達訓練**(国土交通省、愛知県、豊田市)
～予測情報、危険な範囲などきめ細かな情報の迅速な伝達を検証。

第3弾

8月27日、豊田市内矢作川河川敷:**災害復旧訓練**(国土交通省豊橋河川事務所、愛知県建設業協会)・・・矢作川の破堤を想定し、大型ブロックなどを用いて緊急復旧

第4弾

8月28日14:00～、豊田市福祉センター:**流域圏懇談会の創設**(流域内の行政、市民等による矢作川の課題解決にむけての議論の場。以降も継続して開催)一般傍聴可。

第5弾

9/5、恵那市内:**防災イベント**を企画中。(恵那市)

第6弾

9月11日(土)13:30～16:00、豊田市福祉センター
シンポジウム「矢作川・東海恵南豪雨から10年～洪水の教訓を次世代に伝える」
[話題提供: 豊田市消防団片桐分団長など、パネラー: 豊田市長、森林ボランティア協議会山本氏、NPO愛知ネット天野氏など]

第7弾

9月12日(日)午前、恵那市上矢作地区公民館:**「地域防災セミナー～恵南豪雨から10年」**
(恵那市、岐阜県)